



新潟市議会議員 荒井宏幸通信

市政報告

2024年 春

第13号

電話・FAX
025-286-2535

目次

表面

- 速やかな復旧、活力ある新潟市へ
- 令和5年12月定例会 一般質問要旨(抜粋)
 - 観光促進について
 - 工場夜景バスツアーについて

裏面

- 新潟市議会 令和6年2月定例会にて
 - 令和5年度 補正予算可決
 - 令和6年度 当初予算案提案
- 視察報告(名古屋市)
 - Park-PFIで財源確保! 魅力あふれる公園に再生!!

速やかな復旧、活力ある新潟市へ

本年元日の能登半島地震により被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

困難な状況が続く中、国、県の予算だけでは救いきれない被害もあります。それらを市独自の予算で出来るだけ広く補えるように対応しております。

令和6年度予算案は、一般会計が過去最大となり4,185億円です。ここには地震対応分も含まれており、速やかな生活再建・災害復旧に全力で取り組み予算になっています。

安心・安全に加え、活力・交流、子育て・教育にも力を置いています。

新潟駅ではリニューアルが進み、徐々に新たな姿を現しています。駅直下のバスターミナル開通により南北が繋がりはバス路線にも変化が見られます。駅構内の商業施設も老舗、人気店に加えて初出店、新形態といったお店も並ぶ新名所に期待が膨らみます。

7月には佐渡島の金山の世界遺産登録の可否を審査する世界遺産委員会がインドで開催されます。本市は佐渡の玄関口としてインバウンドの受け皿にもなり、経済波及効果が期待出来ます。そして、そのためには受入れ態勢の強化が必要です。

人口減少は喫緊の課題であり、人口流出や出生数の激減は抑えなければなりません。物価高騰への対応、子育てへの切れ目ない支援、教育の充実に力を入れていきます。

我々はこれまでも苦難のたびにそこから学び、新たな成長を遂げてきました。引き続き課題解決に向けて力強く取り組みます。



観光促進について

■質問(荒井)

新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、外国人旅行者が日本国内を訪れる機会も増えた。新潟空港でも上海線、台北線に続きソウル線も運航を再開したが、本市におけるインバウンドの動向はどうか。

■答弁(中原市長)

本市では、令和5年1月から8月の外国人延べ宿泊者数がコロナ禍前の6割以上まで回復し、インバウンドが着実に増加している。令和6年1月のハルビン線の再開により新潟空港の国際線4路線が全て復便されることから、本市への訪日外国客数の増加がさらに加速するものと期待している。

■質問(荒井)

2021年のダボス会議で発表された旅行、観光の魅力度ランキングで、日本は1位に輝いた。また、円安により外国人旅行者にとってリーズナブルに買物や食事ができる日本は魅力的な観光地となっている。本市では、店の受入れ環境など利便性の向上が重要と考えるが取り組みを伺う。

■答弁(関川観光・国際交流部長)

本市では、宿泊施設や飲食店等が行う外国語情報の提供、公衆無線LAN設備、決済環境整備等の設備投資に対する助成制度により、インバウンド受入れ環境の整備を支援している。引き続き官民一体となり利便性向上を目指していく。

■質問(荒井)

新潟駅構内の観光案内センターの開設も近づき、来訪者に分かりやすい案内に期待が持てる。本市では街なかの案内サインの整備等にも力を入れているが、外国人旅行者の受入れ態勢はどうか。

■答弁(関川観光・国際交流部長)

本市では、多言語のホームページやパンフレット、マップによる情報発信など受入れ態勢の充実を図っている。また、海外からの来訪者にとって分かりやすい案内サインの整備を促進するため、在住外国人と現地確認を行い、意見や提案をいただいた。今年度中に方向性を取りまとめ、案内環境の整備、改修に取り組んでいく。

令和5年12月定例会 一般質問要旨(抜粋)

工場夜景バスツアーについて

■質問(荒井)

東区の工場夜景バスツアーに初めて参加した。昼間のように明るく眩しいばかりの光に包まれた巨大な工業地帯の夜景とは違い、東区の通船川、鷗橋付近から望む工場夜景は、紫色の夜空に浮かぶ煙や炎、それらがゆらゆらと映し出される川の水面、明るくないからこそ見える美しい景色があることに気付く。工場に張り巡らされたパイプ類と、それらを照らす無数の保安灯。人工的な景観は近未来の映画のシーンのように幻想的で美しく、非日常的な空間へと誘う。夜の工場が明るいのには、プラントに異常が起こっていないかを監視する必要があるからだ。このバスツアーは、区役所の手配故に普段行けないプレミアマな場所に行き、特別な体験が出来ることも特徴であり、工場夜景を中心に様々な観光資源を組み合わせた複合的な魅力を発信し集客に繋げることが成功している。抽選になるほど人気のツアーであるが、出来るだけ多くの人に参加していただきたい。今後の展開はどうか。

■答弁(斉藤東区長)

工場夜景バスツアーは、東区にある工場の複雑な造形と光に着目し、東区の魅力として再発見してもらいたいという新潟県立大学の学生の発案をきっかけに、地域コミュニティ協議会で始めた事業を区が引継ぎ、今年で8年目になる。夜景観賞に工場や施設の見学、ものづくり体験なども加え好評である。次年度はツアー回数を増やすことを検討する。



令和5年度一般会計補正予算が可決されました

61億7千万円

注目される事業の一部

北陸応援割にいがたクーポン配布事業

「北陸応援割」市内宿泊者に飲食やお土産などに使えるクーポンを配布。

5,000万円

障がい福祉施設整備事業

グループホームの創設に対して補助。

3,480万円

こどもの居場所づくり支援体制強化事業

こどもの視点に立った多様な居場所づくりの支援体制を構築。

1,571万円

県営土地改良事業費負担金

県営土地改良事業に係る負担金を増額。

4億4,820万円

除雪対策費

今年度の除雪費について不足する事業費を増額。

10億2,000万円

直轄事業負担金

3億2,470万円

市民税オンラインシステム改修等事業

2億3,200万円

ふるさと新潟市応援寄附金事業

1億円

障がい福祉サービス等事業

17億8,200万円

こども医療費助成事業

5億4,200万円

私立保育園等運営費

15億6,000万円

特定医療費支給事業

1億4,200万円

妊産婦医療費助成事業

1億2,100万円

令和6年度一般会計当初予算が提案されました

過去最大 4,185億円

対前年度比+208億円
+5.2%

ココに注目

新潟駅周辺地区の整備

幹線道路及び駅前広場の整備。

41億4,962万円

被災家屋等の解体・撤去事業

半壊以上の被災家屋等を申請に基づき、公費にて解体・撤去。

55億1,400万円

ICTを活用した避難所キーボックス設置事業

4,000万円

移住支援事業

1億3,866万円

未来へつなぐ地域農業支援事業

2,110万円

児童手当の給付

116億8,496万円

令和6年10月分から、所得制限撤廃、支給期間延長（高校生年代まで）、第3子以降の加算額を増額。

児童扶養手当の給付

22億2,519万円

中学生の全員給食化・給食費の公会計化

1億3,312万円

中学校スクールランチを食缶方式による全員給食に切り替え。

多忙化解消対策推進事業

3億1,077万円

学校現場での「多忙化解消行動計画」の取組を進める。

デジタル・イノベーション企業立地促進補助金

3億3,600万円

新たなバスの利用喚起策の実施

1億3,000万円

DXプラットフォーム推進事業

1,600万円

ラムサール条約都市推進事業

3,634万円

越後石山駅・巻駅周辺整備事業

1億4,770万円

駅前広場、自由通路の整備とバリアフリー化を推進。

寺山公園魅力アップ事業

2,050万円

産業のまち東区「オープンファクトリー」

500万円

工場夜景バスツアー

200万円

産業E産探求プロジェクト

500万円

視 察 報 告

名古屋市・久屋大通公園／大都市制度・行財政改革調査特別委員会視察

Park-PFIで財源確保！魅力あふれる公園に再生！！

Park-PFIとは、飲食店、売店等の公園施設の設置・管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続きのことです。収益施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用されます。そして、この制度を活用することにより以下のメリットがあります。

公園管理者のメリット	民間事業者のメリット	公園利用者のメリット
- 民間資金の活用により、公園整備・管理にかかる財政負担が軽減 - 民間の創意工夫も取り入れた整備・管理による公園のサービスレベルの向上	- 大規模施設の設置や長期の設置が可能となり、長期的視野での投資、経営が可能 - 緑豊かな空間を活用して自らが設置する収益施設に合った広場等を一体的にデザイン、整備出来ることで、収益向上にもつながる質の高い空間が創出可能	- 飲食施設の充実など利用者向けサービスが充実 - 老朽化し、質が低下した施設の更新により、公園の利便性・快適性・安全性が向上

名古屋都心の栄地区にある久屋大通公園は、戦災復興事業として造られ、名古屋市のシンボルとして市民に親しまれてきました。しかし近年では、財政難から、公園の整備費や改修費が低く抑えられ、管理水準も低下し、利用者も減少しました。その状況を改善すべく、平成24年「名古屋市公園経営基本方針」が策定され、前述のように新たな仕組みが出来上がりました。

現在は、美しく整備され、カフェやブランドショップ等も入り、女性や子ども、家族と幅広い層から満足度の高い公園が実現し、多くの方が利用しています。

本市においても、厳しい財政状況の中で魅力ある公園の維持管理を行っていくことは容易ではありません。民間の経営感覚を活かして、効率的で質の高い公園整備・管理運営をすすめる時期に来ていると感じました。



樹木で埋もれていたテレビ塔が、水盤によってシンボリックに